

さいと 市議会だより

2月17日にグランドオープンした西の都酒造株式会社（アグリ館）



●三月定例会の概要●

平成二十年第一回定例会は三月三日に招集、同月二十一日までの会期で、市長提出議案四十三件、議員提出議案四件、請願一件、陳情二件について審議を行いました。その結果、議案についてはいずれも原案可決、請願については採択、陳情については一件を採択、一件を継続審査としました。

一般質問では九名の議員が登壇し、市長の政治姿勢、行財政改革、市民協働、スポーツ振興、農業行政、道路特定期財源制度、市制施行五十周年記念事業等に関する質問を行いました。

主な掲載内容

- 議案審議結果・・P2~3
- 一般質問・・P3~5
- 請願・陳情の審査結果・・P5
- 可決された意見書・・P5
- 新田原基地対策調査
- 特別委員会報告・・P5~6
- 西都救急病院対策調査
- 特別委員会報告・・P6

議案審議結果

第一回定例会(三月)で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
■賛成多数で可決

条例關係

- 西都市後期高齢者医療に関する条例の制定について
 - （後期高齢者医療制度の開始に伴う条例の制定）
 - 西都市の議会議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部改正について
 - （選挙公報について、新聞折込のみ等により配布を行える旨の改正）
 - 西都市監査委員条例の一部改正について
 - （地方公共団体の財政健全化に関する法律の制定によるもの）
 - 西都市課設置条例の一部改正について
 - （財政課及び健康管理課の所管事務の一部改正するもの）
 - 西都市職員の育児休業等に関する条例及び西都市職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部改正について
 - （地方公務員の育児休業等に関するもの）
 - 西都市重度障害者の医療費助成に関する条例及び西都市立診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - （老人保健法の名称変更によるもの）
 - 西都市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
 - （廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正によるもの）
 - 西都市国民健康保険条例の一部改正について
 - （国民健康保険法の改正によるもの）

予算関係

- 西都市介護保険条例の一部改正について
〔介護保険料の激変緩和措置を行おうとするもの〕

●西都市企業立地促進条例の一部改正について
〔雇用奨励金等の内容を変更するもの〕

●西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
〔宮之下住宅1号棟及び2号棟の用途を廃止するもの〕

●西都市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
〔八木佐野館及び門田館を公の施設として設置するもの〕

■西都市民会館条例の一部改正について
〔管理を指定管理者に行わせるため、所要の整備をするもの〕

■西都市文化ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正について
〔管理を指定管理者に行わせるため、所要の整備をするもの〕

●平成十九年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第二号）について
●平成十九年度西都市下水道事業特別会計予算補正（第四号）について
●平成十九年度西都市老人保健特別会計予算補正（第三号）について
●平成十九年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正（第四号）について
●平成十九年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第四号）について
●平成二十年度西都市一般会計予算について
■平成二十年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について
■平成二十年度西都市簡易水道事業特別会計予算について
■平成二十年度西都市下水道事業特別会計予算について
■平成二十年度西都市営住宅事業特別会計予算について
●平成二十年度西都市農業集落排水事業特別会計予算について
●平成二十年度西都市老人保健特別会計予算について
●平成十九年度西都市一般会計予算補正（第八号）について
●平成十九年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について

その他

- 平成二十年度西都市介護保険事業特別会計予算について
 - 平成二十年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計予算について
 - 平成二十年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算について
 - 平成二十年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について
 - 平成二十年度西都市水道事業会計予算について
 - 第三次西都市総合計画後期計画基本構想の一部改訂について
（道路網・市街地の整備、基地周辺対策、企業誘致と雇用促進、教育内容の充実等についての改訂）
 - 西都市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について
（銀鏡郵便局において住民票等の事務を取り扱わせるもの）
 - 市道路線の廃止について
（道路改良等に伴うもの）
 - 市道路線の認定について
・上妻塚脇線・西都原総合台線・西都原清水台線・上妻刎田線・逢初川歩行者専用道路

線・中ノ迫杉尾線・中ノ迫線

● 指定管理者の指定について

(八木佐野館及び門田館の管

理者指定)

議員提出議案

- 道路特定財源の確保に関する意見書の提出について
- 在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書の提出について
- 独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書の提出について
- 後期高齢者医療制度に関する意見書の提出について

- 答 十八年度の実質公債費比率が十八・一%であることから、財政健全化計画における単年度市債発行総額を八億円以下とする市債発行の方針に従い早期の適正化に努めたい。また、地方交付税に大きく依存する本市としては、将来負担に備えて、基金残高の減少を出来るだけ少なくしながら、持続可能な財政構造への転換を図れるよう、引き続き行財政の健全化に取り組んでいきたい。
- 問③ 市制施行五十周年記念イベントについて伺いたい。
- 答 十一月の記念式典をはじめ、NHKのど自慢、米良美一コンサート、市民記念文集、市民植樹事業などのほか、市民自らが企画実施する五十周年記念事業に対する補助事業を計画している。
- 問④ 市民協働で民間放送局の特別番組や、市民大運動会などイベントが考えられるが、市長の考えを伺いたい。
- 答 今後いろいろと検討していきたい。

- 問① 新年度予算について伺いたい。
- 答 一般会計の総額は五・八%、七億七千八百六十七万一千円増の百四十一億千四百六十三万五千円となり、平成
- 問① 協働型社会づくりのために、市民団体を支援するまちづくり補助金制度を設けられたが、平成十九年度の予算と実績件数・使われた金額と、二十年度の予算はいくら計上してあるのかお尋ねしたい。
- 答 三百五〇万円の予算に対して、対象となつたのは二団体、二事業で二十六万円の支出であった。二十年度の予算は昨年度同様の三百万円である。
- 問② NPOへの支援策として相談窓口を区内に設置する度合いいかお尋ねしたい。
- 答 市民活動支援センターを市民協働推進課内へ設置したので、利用していただきたい。
- 問③ 市民活動支援センターの設置場所や利用時間等の周知はされているのかお尋ねしたい。
- 答 西都原運動公園野球場のラバーフェンスの改修工事、段差を解消するためのスロープの設置、ナイター施設及び野球場内のベンチ修繕、運動公園内のトイレの改修及び新築工事、清水台総合公園多目的広場Cの冬芝化とパークゴルフに来られた方も使えるよう付帯施設を設置する。
- 問② 交流人口増対策について伺いたい。

- 問① 協働型社会づくりのために、市民団体を支援するまちづくり補助金制度を設けられたが、平成十九年度の予算と実績件数・使われた金額と、二十年度の予算はいくら計上してあるのかお尋ねしたい。
- 答 各学校の「学校便り」やPTA総会、役員会等でも説明会をしているし、パンフレットを作成して各戸へ配布している。「さいと学」についても、各学校での独自な取組みも行われると考えている。
- 問② 小中高連携一貫教育が保護者に十分理解されていると思われるかお尋ねしたい。
- 答 各年度が二十八団体の六千八百十五人、十七年度が三十四団体の九千八百八十三人、十八年度が三十四団体の一万二千二百二十五人、と増えてきている。
- 問③ キャンプ歓迎式の市民に対するPRは充分なされているのか伺いたい。
- 答 充分とは言いがたいので、今後担当課と検討していく。
- 問④ 韓国プロ野球の宿泊先是市外になつているが今後の見通しについて伺いたい。
- 答 今年の秋からは、西都に宿泊してもらえる旨の返答を得ている。
- 問⑤ キャンプ誘致活動に取り組んでおられるが、平成十六年度から十八年度の三年間でキャンプ等の団体数、延べ参加人数を伺いたい。
- 答 十六年度が二十八団体の六千八百十五人、十七年度が三十四団体の九千八百八十三人、十八年度が三十四団体の一万二千二百二十五人、と増えてきている。
- 問⑥ 協働型社会の構築と小中高連携一貫教育について
- 新風会 田爪淑子

- 問① 新風会について
- 新風会 兼松道男
- 答 施政方針のなかでスポーツ施設の整備充実については、「既存施設の改修、整備充実に引き続き取り組んでまいります。」と述べられているが、具体的に伺いたい。
- 答 西都原運動公園野球場のラバーフェンスの改修工事、段差を解消するためのスロープの設置、ナイター施設及び野球場内のベンチ修繕、運動公園内のトイレの改修及び新築工事、清水台総合公園多目的広場Cの冬芝化とパークゴルフに来られた方も使えるよう付帯施設を設置する。
- 問② 交流人口増対策について

- 問① 来年二月四日任期満了となる市長選への出馬意向について伺いたい。
- 答 さまざま立場の人から意見を聞いて方向を決めたい。
- 問② 市町村合併について
- 児湯郡内との協議内容、宮崎

市との考え方、新法の期限は平成二十一年三月末となつてゐる。自立の選択肢と合わせて、見解を伺いたい。

答 児湯郡内の各町村の置かれている状況の違いから協議が調つてない。宮崎市とは児湯郡内と合併後に考慮しては、合併は避けて通れないの、今後も県と連携していきたい。自立には二だわらず、行政改革を推進し、地方自治体の確立を図りたい。

答 児湯郡内の各町村の置かれている状況の違いから協議が調つてない。宮崎市とは児湯郡内と合併後に考慮しては、合併は避けて通れないの、今後も県と連携していきたい。自立には二だわらず、行政改革を推進し、地方自治体の確立を図りたい。

備を強く要望していきたい。

面をどうするか検討することにしている。

問② パークゴルフ場は十七年四月にオープンしてから三年近くになるが、日々、来場者が増えている状況にある。



高騰するA重油に農家の悲鳴が

工業団地開発とパークゴルフ場の整備について
市民クラブ 浜砂松生

問③ 農業行政について、原油高騰への対処と、穀物不足への対処を伺いたい。

答 特にA重油は平成十六年から二倍強に高騰しているので、多段サーモ・循環扇・排熱回収装置・ハウス三重施設等への助成を三ヵ年実施してきた。今後は木質ペレット温風加温機・電気ヒートポンプ等の開発及び補助事業を、国に働きかけていく。穀物不足への対処として、飼料用のトウモロコシ・エン麦・飼料用米などの作付を拡大して、輸入依存に対処していくたい。

問① 工業団地開発計画は、昨年の九月議会において突然提案がなされ、様々な経過があり、取り下げられた案件である。その経過と本議会に提案されている予算の中身と、市長が描いている工業団地計画は、どのようなものであるか伺いたい。

答 枯れた樹木については、植え直したいと思うが、土壤が悪いことなどが考えられるので検討していくといふと考えている。また、回数券の発行は、二十年度早い時期に実施していきたい。ベンチについても、コースの支障にならないよう設置の検討をしていきたい。



利用者が増えているパークゴルフ場

道路特定財源について

問① 道路特定財源について伺いたい。

答 本市において道路特定財源の暫定税率の廃止は約二億千六百万円の財源の減少となり、道路の改良や維持が極めて困難となる。また、財源の厳しい中では、教育や福祉、医療等の予算全体にも影響を及ぼすと考えられる。地域の

格差の解消や地域活性化のためにも暫定税率の維持を望む。

問② 視覚障がい者へのゴミ袋の対応について伺いたい。

答 ゴミ袋の点字での表示を検討したい。

問③ まだ散見しているゴミの不法投棄について、クリーニング等の回数を増やしてほしい。

答 現在、自治公民館にて自ら行って頂いている。今後、回数も含め自発的な活動を期待したい。

問④ 市職員による道路オーナー制度について伺いたい。

答 職員の多くは自宅に帰れば地域のリーダーとして清掃活動に参加している。現在多くのボランティアの協力も

頂くなかで、率先して参加するよう呼びかけていきたい。

問⑤ 特別支援教育について伺いたい。

答 今までの特別教育から様々な場で障がいによる学習生活上の困難を改善、若しくは克服するための教育的支援が行われる。具体的には教育の分野においては障がいのあるなしにかかわらずに交流や共同学習を進めていきたい。

問③ 防災無線は現在どのよう取り組みなのか、また地域にどれくらい設置される予定なのか伺いたい。

答 屋外拡声子局を過去の被災地や人口密集地を基に、市町所、公民館等に妻地区十箇所、穂北地区八箇所、三納地区六箇所、三財・都於郡地区七箇所の計三十八箇所に設置する。整備年度は平成二十一年度を予定。戸別受信機は区長・公民館長宅等に約千六百箇所設置する。整備年度は平成二十一年度を予定している。

問④ 国保の健康優良世帯への還元事業はできないか。

答 平成二十一年度から特定健診事業が始まり、生活習慣病早期発見し、将来的な医療費抑制の取り組みが行われる。無受診者も含めた健診勧奨に努め健康増進に取り組むので理解をたまわりたい。

問① 入札制度改革と地元企業育成対策について伺いたい。

答 入札制度の透明性や競争性を高めるため昨年七月から条件付一般競争入札を試行し

ている。地元企業育成については指名競争入札制度の継続も必要と考えている。また、定し地元企業の受注機会を多くしたいと考えている。

問② 原油高騰による経営支援対策について伺いたい。

答 県が原油・家畜飼料価格高騰支援農業緊急支援資金の創設をしたので、市としてもその資金への利子助成をしていきたいと考えている。

問③ 妊婦健康診査の公費負担の受診回数を十四回に拡充される考はないと伺いたい。

答 妊婦検診については二回から五回に増やしたい。エコ検査も増えるので、安心して出産に結びつくるものと考えている。

問④ 要介護認定を受けておられる六十五歳以上の方で障害者手帳を持つていない人は、「障害者控除対象者認定書」により、所得税や住民税の「障害者控除」が受けられる場合がある。どのように対応されているのか伺いたい。

答 障害手帳を持つていない人も申請により「その障害の程度が障害者又は特別障害者に準ずる者である」と市町村長等から認定を受ければ障害

者控除の適用対象者となるので実施の方向で検討している。

市長の政治姿勢について

市民クラブ 野村隆志

テムを変えない限り格差は解消されない。そんな状況が判っているのに知事以下市町村の首長が賛成するのはなぜか。

答 道路特定財源は必要であるし個々の問題については国政の場で議論してほしい。

問② 市長の後援会報トピックスが区長や班長を通して回覧板と一緒に配布されている。

常識では考えられないことがなぜおきるのか。

答 自分の不徳のいたす所で、市民にお詫びをいたしたい。

国の通達どおり振動障害者を公正迅速に救済する意見書を求める陳情

陳情者
宮崎県建設農林労働組合
執行委員長 井園 安男
副執行委員長 酒井 忠雄
審査結果 繼続審査

可決された意見書

道路特定財源の確保に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

新田原基地対策調査特別委員会報告（概要）

本委員会は、平成十九年四月

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

請願者
全日本国立医療労働組合
宮崎支部長 岐玉 敬子

審査結果
採択

請願・審査結果

立行政法人国立病院機構宮崎病院の存続・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

独立行政法人国立病院機構宮崎病院の存續・拡充と、医師・看護師等の増員に関する意見書

後期高齢者医療制度に関する意見書

後期高齢者医療制度に充実を求める陳情

請願者
宮崎県社会保障推進協議会<br

月二十四日の臨時会において
「米軍再編に係る新田原基地
への訓練移転に關し、騒音防
止及び安全運航対策や治安対
策並びに防音施設整備促進を
図るため調査活動すること」
を目的に、昨年度に引き続き
設置されたものであります。』

《中醫》

七月の委員会は今後の「要望活動」について協議しましたが、在日米軍再編に係る新田原基地使用について、議会として明確な態度を示していない現状では、要望活動ではなく調査活動を実施することで最終的には意見の一致を見たところであります。この決定に基づき、八月二

この規定に基いて、ハル二十一日～二十二日それまでに二度共同訓練が実施された築城基地が所在する福岡県行橋市と築上町を行政調査し意見交換をしたところであります。住民の関心の高かつた米軍再編に係る新田原基地での共同訓練が、九月三日～五日と本年の二月十二日～十五日の二回実施され、委員会としてもその状況を視察したところであります。とともにタイプIと呼ばれる小規模の訓練でありましたが、大きな違いは米軍機が、一回目が嘉手納基地のF15であり、二回目がF A18という岩国基地からの艦載機が参加したことでありました。

同様に注目度が高かつた「再編交付金」であります、

十一月に国から内示があり、本市は二億四千八百万円、新富町が三億四千九百万円、宮崎市と高鍋町がいずれも三千六百万円ありました。最初の五年間は同額が毎年交付され、六年目からの平成二十四年度からは毎年一割ずつ減額され、平成二十八年度までの通算十年間交付されることになりました。〔中略〕振り返るとこの一年は、在日米軍再編に係る新田原基地における共同訓練がいよいよ始まるなど基地を取り巻く情勢が大きく変わった年でもあります。一方では先月十日には沖縄県で米兵による女子中学生暴行事件が発生し、沖縄のみならず全国に衝撃が走りました。常駐化とともに始まるなど基地を取り巻く情勢が大きく変わった年でもあります。一方では先月十日には沖縄県で米兵による女子中学生暴行事件が発生し、沖縄のみならず全国に衝撃が走りました。常駐化とともに始まるなど基地を取り巻く情勢が大きく変わった年でもあります。

西都救急病院対策調査特別委員会報告書（概要）

三九

次に、十一月十七日の委員

では、救急病院へ四月に貸付けた一億円の取扱いについて協議した結果、貸付金でな補助金として三月議会で予措置を行うよう委員各位の意見の一致を見、翌十八日に市長と共に市長に申し入れ書

動、関係機関との協議、先進地への行政調査を実施するなど鋭意活動をして参りましたが、医師確保や病院運営の実情は非常に厳しく、また、西都児湯医療圏内住民の救急医療に関する認識に大きく差があることを痛感したところであります。

次に、二月四日から六日にかけて、京都府舞鶴市、岐阜県恵那市、静岡県伊東市に行き、昨年十二月二十八日に救急院に内定した医師について、局から報告を受けたところあります。次に、一月七日の委員会であります。調査を実施したところではあります。舞鶴市には四つの公的病院が開設されていますが、それも医師不足のため十分な医療提供ができないため、長が「医療のあり方検討委員会」を設置し、医大の教授始め四つの病院の代表や保所長のメンバーで集中的な議を行い、半年で答申をまとめ上げた経緯を調査したところであります。恵那市、伊

市においては、いずれも国立病院廃止に伴い、市が譲り受けたが、医師確保や運営を財団法人地域医療振興協会が行い、調査に推移している病院運営について調査したところである。

井吉浜中内北田狩井
上野砂野藤岡爪野上
照元松 邦四淑保久
也近生勝弘郎子夫昭

今後更に地域住民はもとより医師会、関係自治体、県当局及び議会が一丸となつてこの問題を一日も早く解消できるよう、本委員会として今後も鋭意調査活動していく必要性を再確認したところであります。